

Tezukayama

大学通信帝塚山

UNIVERSITY LETTER

2025 AUTUMN

特集

戦後80年 学生が見つめる奈良と戦争



帝塚山大学
TEZUKAYAMA UNIVERSITY



絵本でつなぐ「戦争の記憶」 法学部・末吉ゼミと教育学部の認定絵本土が大戦の経験を子どもたちに伝える

【写真】 ホテル尾花 中野重宏会長に写真資料を確認してもらいながら挿絵を検討（於：ホテル尾花）。
左から順に、千葉朱音さん（法4年）、末吉教授、辻健太さん（法3年）、中野重宏会長、後ろ姿はとうこ氏。

法学部・末吉洋文教授（専門・平和学・国際法ゼミ）では、戦争体験者の証言をもとに絵本を制作するプロジェクトを進めています。先の大戦の記憶が薄れゆく中、子どもたちに「平和を学び、考える」機会を作りたいという思いから、このプロジェクトは始まりました。末吉ゼミではこれまでも、県内の空襲や戦争遺跡をたどるフィールドワークを重ね、奈良の戦禍の跡を記録する「戦跡デジタルマップ」を制作するなど、奈良と戦争をテーマに平和を紡ぐ活動を続けています。絵本制作は、3年前のフィールドワークで出会ったホテル尾花の中野重宏会長の体験談がきっかけでした。炎天下の行軍訓練や工場動員の様子を臨場感をもって語る姿に、学生たちは心を動かされました。「この体験を後世に残したい」。より幅広い人たちに伝えたいと、絵本にすることを思い立ちました。

今年6月、学生たちは改めて中野会長から戦時中の話を伺い、10の場面にとめました。物語は、真珠湾攻撃を告げるラジオ放送から始まります。平和な日常が戦争によって少しずつ揺らいでいく様子を、中野さんをモデルにした少年「しげ君」の視点で描きました。プロジェクトの中心メンバーのひとり、辻健太さん（法3年）は、「実際に話を聞くと、どこか遠いものだった戦争の恐ろしさが実感できた。決して繰り返してはならないと改めて思う」と話しました。

8月には、五條市在住のイラストレーター・とうこ氏も加わり、挿絵の検討が始まりました。学生たちは戦時中の写真資料を用いて、絵にすべきモチーフや色調について意見を交わしました。12月には、教育学部子ども教育学科の絵本専門士・徳永加代教授（専門・NIE）と、地域のおはなし会で活躍する認定絵本土の学生から、読み聞かせのしやすさなどについてアドバイスを受け、物語のブラッシュアップを図ります。末吉教授は「幅広い世代の人に平和を考えるきっかけにしたい」と話しています。絵本は2026年3月までに完成予定。多くの人に手に取ってもらいたいと、公共図書館への寄贈も視野に入れています。

特集

戦後80年 学生が見つめる奈良と戦争

第二次世界大戦を知る世代が年々減っていき、記憶は静かに薄れつつあります。戦争の被害が少なかったと思われがちな奈良。ただ、戦禍の爪痕は確かに残っています。戦後80年の節目を迎えた今年、学生たちは大学での学びを生かし、戦争と平和に真摯に向き合いました。それは未来へ記憶をつなぐ挑戦でもあります。本特集では、彼らによる2つのプロジェクトを紹介します。

大学通信帝塚山57号 2025.10

01-04 特集

戦後80年 学生が見つめる奈良と戦争

- 05 キャンパスレポート
- 07 表彰学生
- 08 Close-up News
奈良再発見 学生の力で広がる奈良の魅力
- 09 クラブ・サークル活動紹介
- 11 地域連携×大学連携
- 13 キャリアサポート 就職支援の取組み
- 14 卒業生紹介
- 15 IRレポート
- 17 研究紹介
- 18 所蔵品紹介・奈良学への招待
教員業績図書紹介
- 19 帝塚山TOPICS
- 21 帝塚山ファミリー
- 22 Information
- 23 ポータルアプリ紹介・入試情報



▲表紙写真は、帝塚山中学校・高等学校での平和学習の様子。中学生の前に話をするのは、辻健太さんと木村陽さん（ともに法3年）

Tezukayama University Archives 帝塚山大学歴史絵巻 Vol.10

4・5号館横の松の木(1970年/昭和45年ごろ)



開学まもないころの東生駒キャンパスは、山を切り開いた広大な土地に、旧1号館と2号館がぼつとあるだけでした。野ウサギのどこかに走り回り、早朝のグラウンドに残された糞の掃除から一日が始まったといいます。

学舎付近の植栽はまばらでしたが、周囲には里山の面影をとどめる豊かな自然が広がっていました。開学から3年ほどが過ぎ、キャンパス

の環境を整えようと、故・北正弘名誉教授が植樹を始めました。後に「どんぐり林道」と呼ばれるキャンパスすぐそばの山林で、自生していた松（おそらくアカマツ）やムクロジなどを掘り起こし、学生とともにキャンパスに植え替えていったのです。教職員も家から庭木を持ち寄りました。1号館そばに咲くムクゲの花は、故・木村寿夫教授の自宅の庭木を挿し木にしたものと伝えられています。皆が一つひとつ大切に作り上げていったキャンパス。北先生は生前、それは宝物のような日々だったと語っていました。

時が過ぎ、大阪市立大学（現・大阪公立大学）附属植物園から一万本を超える樹木の寄贈を受けた東生駒キャンパスは、やがて二百種近くの木々や花々に彩られる豊かな景観をたたえるようになりました。一方で、開学前から通用門（当時は正門）近くに自生していた象徴的な松の木は、いつしかそのほとんどが松枯れ病によって失われてしまい、北先生がどんぐり林道から移した松の木も、校舎の増設などで姿を消していったのです。

その中で一本だけ、先生が学生と植えた思い出の木が残されています。食堂から4・5号館へ向かう階段脇に佇むその松の木は、先生の生涯を通して卒業生との記念撮影の場となりました。

草創の時代を知る松の木は、今も静かに、東生駒キャンパスを見守っています。

認定絵本土とは



「認定絵本土」は絵本専門士委員会が認定する絵本の専門家の資格。本学教育学部は奈良県で唯一の「認定絵本土」養成講座開設校です。認定絵本土の資格を得た学生、目指す学生とも、講座で学んだ技能を生かして、地域のおはなし会などで活躍中です。

法学部・末吉洋文ゼミの学生が携わった「平和への取り組み」

戦跡デジタルマップ

奈良県の戦争被害を可視化することを目的に、空襲被害や戦跡、戦争関連のエピソード、場所やモノなど、学校史や市町村史、体験記を調査し、Googlemapに反映している。



【地図データ©Google】

戦跡デジタルマップ（Googleマップ）は、こちらからご覧いただけます。



（左）奈良県に遺された4体の「青い目の人形」（2020年刊）

（右）奈良県の戦争遺跡（2019年刊）

奈良県に遺された「戦争遺跡」を調査し、報告書を刊行



小中学校向け平和学習



戦跡フィールドワーク

詳しくは、帝塚山大学法学部国際法・平和学ゼミのHPまで <https://sueyoshi0.wixsite.com/tzk-peacestudies>

奈良学への招待 戦後80年特別企画

～奈良学をとおしてみる〈戦時下〉

本学に設置された奈良学総合文化研究所は、帝塚山短期大学の名誉教授である故・青山茂氏が提唱した奈良学を追究し、その研究成果を広く一般に公開しています。年に1度開催する「奈良学の招待」は、単なる郷土史や地域学にとどまらない人気講座で、今年で24年目を迎えます。

今年は、戦後80年をテーマに掲げ、戦時下の奈良を「奈良学」の観点からとらえ直そうと、全4回のシリーズで講座を開催しました。何かと古代史が注目されがちな奈良。本講座では、正倉院展の歴史や仏像疎開など、戦時中から戦時下、そして戦後の奈良について深く知る機会となりました。

今後開催を予定している講座もありますので、ご注目ください。

2025年10月4日 第1回 戦時下の文学と奈良 西尾 元伸 氏

(帝塚山大学文学部教授・奈良学総合文化研究所長)

文学作品の中に書かれた戦時下の奈良は、地域としての実像を浮かび上がらせることもあれば、実際をはなれて特有のイメージを結ぶこともあります。この講座では、主として1930年代～40年代前半に書かれた奈良にまつわる文学作品をご紹介します、戦時下における奈良について改めて考えました。

2025年10月25日 第2回 正倉院展の"はじまり"と戦後80年 関根 俊一 氏

(帝塚山大学客員教授・名誉教授、和歌山県立博物館長)

毎秋、奈良国立博物館で開催される「正倉院展」の「はじまり」は、昭和21年(1946)。終戦の翌年でした。本講座では、戦中・終戦時の奈良の状況を念頭に、昭和21年の「正倉院展」の開催事情、宝物展示までの経緯について取り上げました。

2025年11月1日 第3回 昭和戦時期奈良県下の文化財疎開 山田 淳平 氏

(奈良県地域創造部文化財課)

本講座では、太平洋戦争期に実施された奈良県下の文化財疎開(国宝疎開)の実態解明を試みました。奈良県の公文書や国立博物館の資料、文化財所有者の日記、新聞の報道資料などを合わせ見ることで、どの文化財が、いつ、どこに疎開していたのかを具体的に跡づけていきます。

2025年11月22日 第4回 奈良学における戦争と平和 —戦争遺跡から「青い目の人形」まで—

末吉 洋文 氏 (帝塚山大学法学部教授)

戦争の爪痕がほとんど残されていないと思われがちな奈良県ですが、市町村史や学校史などを紐解くと、意外と多くの戦争遺跡や体験記を発見することができます。今回の講座では、奈良県内に残る戦争遺跡やまだ解明されていない謎について話します。

時間 10:30～12:00 (受付は10:00～)
開催場所 東生駒キャンパス 1号館 1101教室
定員 80名 (先着申込順)
申込 大学HP所定の申込フォームから
受講料 無料
問い合わせ先 帝塚山大学 奈良学総合文化研究所
0742-48-9192 (月・火・水・木 9～15時)
narakuken@tezukayama-u.ac.jp



5

た入学式に、新入生は国民服に戦闘帽、ゲートル姿で臨んだと『帝塚山学園50年史』に伝えられています。旧制中学校で行われた志願兵の見送りや学徒勤労動員、児童疎開など、戦中の学園の姿を伝える写真を展示ケースに多数収めました。さらに「奈良の戦争遺跡」では、法学部・末吉ゼミが制作する「奈良戦跡マップ」をもとに、戦争とは無縁に思われがちな奈良に残る大戦の爪痕を、写真とともに紹介しています。

展示内容に合わせて、文学部日本文化学科で司書課程を修める学生たちが「戦争と平和」をテーマに選書し、POPを添えて図書を紹介しています。今回の特別展示は、身近には感じにくかった戦争を「自分ごと」として捉え、等身大の言葉で表現する機会となりました。



6

オープンキャンパス参加者に展示解説を行う澤村将吾さん(日本文化3年)。自分なりの視点を加えて説明する。

今回の特別展示の特集記事化にあたり、話を聞いた文学部の学生たち。左から順に、岡村恵奈さん、柴田清佑さん、鈴木涼太さん。第二次世界大戦の歴史を丁寧に追いかけたことで、それぞれの胸に新たな思いが芽生えたように感じられた。

特別展示「奈良と帝塚山学園の『戦後80年』」

【会場】帝塚山大学 東生駒キャンパス 図書館2階 シーキューブ (奈良市帝塚山7-1-1)

【展示期間】～2025年12月1日(月) ＊ただし、図書館閉館日のみ

【時間】10時～16時

観覧希望の方は時間内に図書館カウンターにお越しください。

同特別展示は「戦時下の奈良山里―永井清繁氏が描いた戦争―」「帝塚山学園の昭和史」「奈良の戦争遺跡」の三部構成。7月2日から始まりました。

に関連する絵画を抜粋して紹介しています。召集令状(赤紙)や千人針、松根油など、戦時下の生活を伝える絵をパネルに仕立て、学生たちの入念な調査をもとに書き上げた解説文を添えて展示しました。「帝塚山学園の昭和史」では、1941年に始まる旧制帝塚山中学校の歴史をたどります。太平洋戦争開戦の足音が迫る中、あやめ池遊園地内の仮校舎で行われ



4

文学部と法学部の学生が協力して企画・調査を行った、東生駒キャンパス図書館で開催中の特別展示「奈良と帝塚山学園の『戦後80年』」(12月1日まで)。展示準備を通して、学生たちは、「戦争の記録と記憶」を自分の言葉で紡いでいくことの大切さを心に刻みました。

特別展示

「奈良と帝塚山学園の『戦後80年』」

「戦争と平和」を自分ごととして

捉えることの大切さ

1



3



2

1 2 学徒出陣する帝塚山中学生

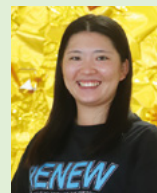
3 『奈良山里の生活図誌』(帝塚山大学出版会)永井氏の描く農作業や山仕事、人生儀礼、年中行事など多岐にわたる絵図はかつての奈良のくらしを鮮やかに呼び覚ます。本展示では、戦争にまつわる絵画を選び掲示した。

4 展示に向けて、文献やデータベースで調査する学生

学生がおすすめする戦争を語る1冊

認定絵本士講座修了生

教育学部子ども教育学科4年
中村 花さん



『へいわってすてきだね』

詩:安里有生 画:長谷川義史
ブロンズ新社

絵の具で描かれた独特な絵と、沖縄の小学一年生が書いた詩が、平和の大切さを伝えてくれる一冊です。

私たちの平和ってどんなことなのでしょう。今この世界に生きていて、友だちや家族と仲良く暮らせていることに改めて感謝しようと思えます。幼児の子どもたちが見ても、絵から戦争の怖さを感じることができます。戦争があったこと、たくさんの人がなくなったこと、これらを子どもたちに受け継いでいくためにピッタリな絵本となっています。

戦後80年の節目の歳に、子どもたちと一緒に読んでみるのはいかがでしょうか。



図書館司書課程履修

文学部日本文化学科4年
篠原 真歩さん



『100年見つめてきました』

作:吉野万理子 絵:川上和生
講談社(わくわくライブラリー)

奈良県の生駒山上遊園地に造られた「飛行塔」は、訪れた人たちを乗せて楽しませることが仕事。飛行塔はそんな子どもたちの笑顔があふれる遊園地を見守っていたものの、徐々に日本全体に戦争の空気が漂い始めていることに気がきます。やがて戦争は激化していき、平和な日常が失われていく光景を飛行塔は見ることになります。終わらない戦争と次々と奪われていく命に対して、航空灯台は言いました。

「それが、戦争というものですから」

戦争によってもたらされた日本の戦禍と復興を、約100年もの間生駒の山上から見つめてきた遊具の視点から語った一冊です。



Campus Report

学科と研究科の特色ある取り組みを紹介します。

現代生活学部 居住空間デザイン学科



(写真左) 村上さんの作品 災害避難を想定したマザーズバッグ
(写真右) 多木さんの作品 簡易ベッドとして使用できる学校椅子

「フェーズフリーアワード2025」で「ゴールド賞」受賞の快挙！

フェーズフリーアワード2025にて、居住空間デザイン学科卒業生（2025年3月卒業）の卒業制作が入賞・入選を果たしました。アイデア部門で、村上華優希さんがゴールド賞を受賞し、多木貴之さんが入選。2人はともに、毎日・DAS学生デザイン賞、金の卵賞入選とのダブル受賞という快挙を

成し遂げました。フェーズフリーアワードは、平常時と災害時の境界を越え、日常時にも非日常時にも役立つアイデアを表彰するものです。防災・減災への意識を持ち真摯にアイデア創出に取り組んだことが、今回の成果につながりました。

教育学部 こども教育学科



日常に子どもの表現を！ 廊下が海の中に変身！！「きれいなうろこの魚」

18号館内を造形表現で彩るプロジェクト「18号館まるごとこども美術館」も3年目を迎え、2025年度は教育連携として、帝塚山小学校2年生68名の作品「きれいなうろこの魚」を4月11日より展示しています。この展示は、「図画工作科教育法」の鑑賞の取り組みの一環として行いました。作品をさらに素直に見せるにはどう工夫したら良いのか、真剣に考えて展示している姿が印象的でした。学生にとっては、子どもの力強い表現に触れることで、『先生』を意識する貴重な機会となりました。

人文科学研究科 日本伝統文化専攻

大学院生が飛鳥の歴史サークル「両機会」との共同イベント・飛鳥遺跡探訪で司会を務めました

5月25日に附属博物館が明日香村で飛鳥の歴史サークル「両機会」との共同イベント・飛鳥遺跡探訪を開催し、人文科学研究科で考古学を学ぶ大学院生が司会を務めました。「飛鳥の王道コースに行く」をテーマに、飛鳥地域の遺跡や寺院11か所を巡り、大学院生は4年生や卒



業生、両機会スタッフとともに現地での解説を行いました。それぞれが、解説をする遺跡について事前に調べ、資料の作成も行いました。充実した資料と解説に、参加者からは大変満足したとの声を頂きました。

法学部 法学科



子どもたちに身を守るルールを伝授！

UR都市機構が主催する地域交流イベント「DANCHI つながる一む〜夏休みは団地で楽しもう！〜」が、奈良学園前・鶴舞団地で開催されました。本学とUR都市機構は、地域社会の活性化と学生が地域に学ぶ機会の創出を目的に協定を結んでおり、今回のイベントはその連携の一環として実施されたものです。当日は、法学部アドバンスクラスの学生有志が参加し、奈良西警察署の協力を得て、寸劇を交えながら小学生に「危険から身を守るためのルール」をわかりやすく伝えていました。

心理学部 心理学科



公認心理師資格取得を目指す4年生に マナー講習を実施しました

心理学部では、公認心理師資格取得を目指す4年生を対象としたマナー講習を実施しました。客室乗務員訓練教官のご経験のある講師（公認心理師・臨床心理士）を招き、言葉遣いやお辞儀の仕方、身だしなみといった作法から、守秘義務やチーム連携といった実践上の諸問題まで、多岐にわたって実習形式で学びました。本学部では教員の多彩なネットワークを生かし、さまざまな領域で実習を受けます。豊富な実践知に基づいた、社会に有為な公認心理師を目指して動んでいます。

現代生活学部 食物栄養学科



幼稚園の園児と植栽活動 ～産学連携 OAT アグリオ株式会社～

新宅賀洋教授のゼミで、園児と一緒に野菜の苗の植え付けを行いました。この取り組みは「食育」の一環として実施され、園児たちに食べ物への関心を高めてもらうことを目的に実施しています。OAT アグリオ株式会社から野菜の育て方や肥料の役割を説明された後、学生と園児が園庭でブチトマト、パプリカ、ナスなどの夏野菜の苗を植え、じょうろで水を遣りました。学生は収穫した野菜を使った献立を考え、給食提供とともに食育活動を実施。園児は集中して話を聞いていました。

経済経営学部 経済経営学科



特別講義「IRがもたらす大阪・関西の未来」を開催

「観光ビジネス論」の授業の一環で、元大阪府・大阪市IR推進会議座長であり、(公財)大阪観光局理事長の溝畑宏氏を講師に迎え、特別講義「IRがもたらす大阪・関西の未来」を開催しました。大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」の被り物をかぶって登壇された溝畑氏に、学生は緊張が和らいだようで、教室は笑顔と拍手に包まれました。溝畑氏からは、大阪がIR開業を見据えてさまざまな挑戦を進めている現状が紹介され、関西の未来や観光・ビジネスの可能性を考察する貴重な学びの機会となりました。

文学部 日本文化学科



大学所蔵資料のアーカイブ作成計画がスタートしました

2023(令和5)年の博物館報改正により、博物館ではデジタルアーカイブの作成が努力義務となりました。本学には法改正以前から附属博物館の所蔵品を公開するデジタルミュージアムがありますが、より扱いやすい内部向けのアーカイブの構築を目指して文学部の有志の学生が作業を進めています。6月20日の作業では古代や中世の資料が多く、学生は緊張した面持ちで資料と対面していました。学生にはアーカイブ作成を通して優れた文化財の継承者になってもらいたいです。

奈良再発見 学生の力で広がる奈良の魅力

NARA CITY
コンシェルジュ



大学の観光に関する授業で奈良市観光協会のNARA CITYコンシェルジュの募集を知り、応募しました。面接では四季折々のイベントや景色を例に、「一年を通して楽しめる場所」であることを伝えました。NARA CITYコンシェルジュの活動ではイベントに出る機会も多く、人前で話す自信やふさわしい立ち居振る舞いが身についたように感じています。最も印象に残っているのは、大阪・関西万博での天平行列です。普段は平城宮跡で行われる行列を、万博という大舞台で披露でき、奈良を知らない人にも文化を伝えられた貴重な経験でした。大学では観光学のゼミで、各地の観光の特色を学んでいます。改めて奈良の強みを考える機会にもなり、そこで得た視点は、NARA CITYコンシェルジュの活動で奈良を紹介する際に役立っています。今後は国内外を問わず、知られざる奈良の魅力をSNSで発信し、「また奈良に行ってみたい」と思ってもらえるように取り組んでいくつもりです。

写真提供：
奈良市観光協会



防犯ボランティア
あっぷりけ



Honor Students

学部褒賞学生

【学部学科内 学年ごとに50音順 掲載承諾学生のみ】

文学部 日本文学学科 2年 篠原 真歩 3年 島山 詩菜 4年 米田 那智 高橋 美晴 竹田 真菜 鍋谷 梓実 京谷 玲奈 辰巳 まゆ	経済経営学部 経済経営学科 2年 井戸 琴音 上田 颯大 WANG H 小河 健太郎 河村 美里 小林 塁 近藤 麻央 櫻井 菜々子 櫻井 理羽 澤見 弥和 竹内 一輝 中村 達 八方 寛生 藤澤 潤也 藤田 ことね 藤原 航介 真鍋 琴奈 藪内 彩圭 山田 愛花 吉川 雅 浅井 彩花 有川 煌稀 石壁 萌 井上 侑郎 今村 晴之助 植田 理愛 上野 楓花 岡田 帆世 岡西 優来 加川 礼音 北山 菜々実 佐藤 日晴 新宮 翔太 田端 心太郎 永井 ルイ雄人 中村 友耶	西原久美香 羽屋戸 省汰 松本 菜々花 松本 琉雅 吉川 眞由 荒木 隆暢 石井 貴太 石井 遥香 伊藤 遥奈 植田 将一 上田 雅基 清水 莉奈 竹田 上尋 竹辺 朱梨 出原 未来 永岡 太一 西岡 颯 山口 華加 冬木 純一郎 松井 綾音 松石 優希 松下 晃大 柳村 柊吾 山崎 由貴 山田 太陽	※経済経営学部のみ、各学年につき20人を経済経営学部成績優秀者として表彰している。	法学部 法学科 2年 中野 実結 松本 実莉 森 耀星 3年 内川 嵯恵 富岡 美来 松下 直樹 高垣 智樹 林田 碧 平位 太洋	心理学部 心理学科 2年 笠飯 勇輝 北浦 直美 志野 和奏 川本 みのり 仲石 彩夏 花谷 恋都子	現代生活学部 居住空間デザイン学科 2年 浅田 真優 有田 詩 3年 佐々木 みちる 有馬 紗彩 高瀬 将生 手島 朱理 西川 沙波 藤岡 涼葉	こども教育学部 2年 北村 美夢 小松原 愛美 代永 穂乃佳 今西 まどか 3年 島田 彩花 古谷 陽菜 小国 希良 中村 花 山田 夏光	現代生活学部 食物栄養学科 2年 高山 花菜 高山 莉菜 水野 愛梨 九鬼 那柚 小坪 歩夢 岡 郁花 4年 影山 心美 福田 瑞季	岡田 元斗 河野 結衣 山口 実莉
--	--	--	--	---	--	---	---	---	--

※学年は2025年4月時点のもの

※お名前の上表外漢字は、字形の近い常用漢字に置き換えて表記していることをご了承ください。

2024(令和6)年度後期 学長表彰

2024(令和6)年度 課外活動表彰式

学長賞

文学部 日本文学科	松本 協子※	学科内における学業成績最優秀者
経済経営学部 経済経営学科	福永 泰士※	
法学部 法学科	服部 真里奈※	
心理学部 心理学科	上垣 晴奈※	
現代生活学部 食物栄養学科	植田 百香※	
現代生活学部 居住空間デザイン学科	鬼塚 愛実※	
教育学部 こども教育学科	吉田 愛莉※	

文学部 日本文学学科 當麻寺プロジェクトチーム
開学60周年事業として、當麻寺「聖衆來迎練供養會式」でのボランティアのほか、中将姫像のお身代わり像を制作し展示。各種メディアにも紹介されて大学のPRに寄与した。

学長奨励賞

経済経営学部 経済経営学科 福永 泰士*

株式会社琉球補聴器の課題に対して、大阪企業の事例をもとにカフェの設置を提案。沖縄と大阪をつなぐ企業連携について開学60周年記念公開講座で、実学の成果として発表した。

心理学部 心理学科 不登校生徒理解支援チーム
中学校教員向けに不登校生徒理解の心理ワークショップを実施。不登校を経験した学生へのインタビューをもとに教師役・生徒役で意見交換するプログラムを考案した。

現代生活学部 居住空間デザイン学科 Team Labo B
令和6年度「知財ビジネスアイデア学生コンテスト」に参加し、38大学の中でデザイン部門最高位の
近畿経済産業局長賞を受賞した。

※の学生は2025年3月卒業

団体賞

優秀賞	女子バレーボール部、レスリング部、軟式野球部
個人賞	
最優秀賞	レスリング部 吉田 奨健（経済経営 2025年3月卒業）※
優秀賞	女子バレーボール部 堀 由佳（心理4年）
	レスリング部 沼田 将吾（法4年）、中本 圭作（文3年）、大原 千由（経済経営3年）、中村 太紀（経済経営3年）、升田 康太（経済経営3年）、岡山 ケー（経済経営2年）、島田 京弥（法2年）、矢野 楓奈（法2年）
	硬式野球部 山本 隼也（法4年）
	軟式野球部 野田 航希（居住空間デザイン3年）、河原 煌樹（日本文化3年）、阪田 一孝（日本文化3年）、澤村 将吾（日本文化3年）
	アイススケート部 栗栖 綾侑子（こども教育 2025年3月卒業）※

※の2名は、「第58回 帝塚山大学卒業式」で表彰。

注目のクラブ・サークル

演劇部「劇団透り雨」

東生駒
キャンパス

台本や衣装係も演じる側も大歓迎！
皆で力を合わせて作り上げる舞台は格別です。



新しい挑戦を全力で応援します！
皆さんの経験や力を舞台づくりに生かしてください。

代表 八島 蓮太郎さん(心理3年)

- ①東生駒キャンパス2号館2101教室を活動拠点に、新人公演、夏公演、3月公演、また学祭でのステージ出演などを主に行っています。台本や道具、衣装の作成、役者も演出も全て学生で行っています！
- ②男子15名 女子14名
- ③皆で舞台を作りあげる楽しさを経験できます。1人ではなく全員で、見に来てくれた人に何を持って帰ってもらえるかを考えて、舞台を制作しています。



いろいろなアイデアを出し合いながら舞台を作り上げる。 公演の様子

初の全室内開催！

第18回 あかね祭

すべての企画を屋内で実施 創意工夫にあふれたイベント

5月11日、第18回あかね祭を学園前キャンパスで開催しました。新入生を歓迎するこのイベントは、短期大学時代の「茜祭」を復活させようと、学生たちが「あかね祭」として2007年度にスタートさせたもの。一般にも公開する学園前キャンパスの春の恒例行事です。

コロナ禍で一度だけ中止を余儀なくされたものの、オンライン開催や東生駒キャンパスでの実施など、さまざまな工夫を重ねながら受け継がれてきた「あかね祭」。18回目を迎えた今回は、天候に左右されないようすべてのプログラムを屋内で実施しました。14号館学生ホールをメイン会場に、全天候型の新入生歓迎イベントが、奥村由美子学長のあいさつを皮切りに幕を開けました。

ステージでは、音楽系クラブ・サークルや吹奏楽部による演奏、演劇部の公演、合気道部の演武のほか、楽笑Crewのダンスパフォーマンスなど、バラエティ豊かな出し物が続々と披露されました。観客との距離が近い

写真サークル「+photo」

学園前
キャンパス

被写体は何でもOK！
スマホでも一眼レフでも写真好きは大集合。



めいっぱい楽しんでほしい！
写真のスキルを磨きたい人にはぴったりのサークルです！

代表 秋園 彩華さん(心理4年)

- ①「好きなこと+（プラス）写真」をコンセプトに活動する写真サークルです。主な活動は学内での撮影練習や、学外での撮影会、大学祭への出展です。特に、大学祭の出展に力を入れています！
- ②男子14名 女子31名
- ③大学祭ではオリジナルグッズや活動を記録した部誌をメンバーで協力して作り、販売しています。活動を形に残すことを心がけています。学内外から撮影のご依頼をいただくこともあります！



大学祭での物販。撮りためた写真をグッズに。 撮影会の様子。この日は紅葉がテーマ。



クラブ・サークル活動紹介

クラブ・サークルを通じて、学内外で活躍する
帝塚山大学生の姿をお届けします。

強化認定クラブ 女子バレーボール部

東生駒
キャンパス

新生チームでいきなりの快挙 7大会ぶりに1部リーグ優勝！ RIGAVIL CUP 2025春季リーグ

関西大学バレーボール連盟主催の2025年度春季リーグ戦（RIGAVIL CUP 2025）1部リーグにおいて、女子バレーボール部が優勝を果たしました。本学に優勝旗が戻るのは2021年度秋季リーグ以来、7大会ぶり。藤田幸光監督は就任して初めてのシーズンでリーグを優勝を決めるという快挙です。

最終日までに関西大学、京都橘大学、本学の3校が8勝2敗で並ぶ混戦の中、本学は神戸親和大学との最終戦を3-0のストレートで勝利。同じく最終戦を制した京都橘大学にセット率と得点率で上回り、リーグ制覇を決めました。

新体制となった4月から藤田監督と森脇文子コーチの指導のもと、チームは「気努愛楽（きどあいらく）」をスローガンに練習に取り組んできました。藤田監督は「一人ひとりが意見を出し合い、互いを思いやる信頼関係がチームを支えた」と振り返ります。主将の三反畑奈々星選手（経済経営4年）も「支えてくださった多くの方のおかげで優勝できた。次の西日本インカレでも優勝をめざしたい」と意気込みを語りました。

また、最優秀監督賞に藤田監督、最優秀選手賞に三反畑選手、ベストスコアラー賞に堀由佳選手（心理4年）が輝きました。



藤田幸光監督にお話をうかがいました

帝塚山大学は選手一人ひとりの力が高く、キャプテンを中心に本当によくまとまっているチームというのが最初の印象。仲の良さも魅力に感じた。私が就任してから重視しているのは、コンディショニング。部員数が少なくケガが戦力に大きく影響してしまうので、体力の回復を考えた内容に練習も工夫している。

現メンバーにとって優勝は初めての経験で、一気に勝利にどん欲になった。秋のテーマは「圧倒的な強さで勝つ」。でも、私としては強いだけでなく、みんなに愛されるチームであってほしい。明る

く元気に楽しく——そのうえで、厳しさの中にも一緒に喜べる関係を築いていきたい。

学生スポーツでは、4年間で何を学び、どう主体的にかかわったかが大事で、試合に出ることだけが全てじゃない。試合に出られない学生にも役割を持たせ、自分なりにチームへどう貢献するかを考えてもらっている。いろいろな経験を通じて、自分の強みを見つけ、自信を持って社会に出てほしい。今の目標は、まずは秋リーグの連覇、そして全日本インカレでもう一段上の景色を見せてあげたい。それだけの力が彼女たちにはあるから。

藤田 幸光（ふじた ゆきみつ）

元男子バレーボール選手、全日本代表および全日本男子代表監督。日本リーグ通算成績は歴代最多得点3位。2007年より京都橘大学女子バレーボール部監督を務め、2009年の全日本インカレでチーム初のベスト4に進出。2025年4月より本学女子バレーボール部監督に就任し、初年度のリーグ戦で1部優勝を達成。



強化認定クラブ レスリング部

東生駒
キャンパス

初の1部リーグ残留とともに全国ランカー続出 確固たる実力を内外に示す



5月10日・11日に金岡公園体育館（大阪府堺市）で開催された「西日本学生レスリング春季リーグ戦」1部リーグに出場。初参戦から4年目の今季は、2勝2敗ながら内容差で8校中7位となり、念願の1部リーグ残留を果たしました。鈴木貫太郎新監督のもと「まずは1部

定着」を合言葉に、チーム一丸となってつかみとった勝利です。

8月21日から24日にかけて駒沢オリンピック公園体育館（東京都世田谷区）で開催された「全日本学生選手権」には、本学から22名が出場。同選手権は、東日本・西日本学生連盟に所属する全学年の学生が競う学生日本一決定戦です。フリースタイル86キロ級で升田康太選手（経済経営3年）が3位に入賞、97キロ級の島田京弥選手（法2年）が5位に入りました。升田選手は昨年の西日本学生選手権で2年生ながら優勝した実力者。今大会でも東日本の強豪選手を次々と破り、U-20全日本ジュニアオリンピック以来のメダルを獲得しました。

この3位入賞により、12月に行われる天皇杯全日本選手権への出場権も手にしました。

また、8月10日に大洗海岸（茨城県）で開催された「第13回全日本ビーチ・レスリング選手権大会」では、矢野楓奈選手（法2年）がU20女子50キロ級の日本代表に選出。9月25日からギリシャ・カテリニで開催された世界大会で、日本代表として大舞台に挑みました。

着実に成果を積み重ねる帝塚山大学レスリング部。強豪校として全国レベルでの存在感を鮮烈に示し、今後のさらなる飛躍が期待されます。

第79回国民スポーツ大会(国体)に多数の本学学生が代表選手に選出されました

9月28日から10月8日にかけて行われた第79回国民スポーツ大会（～わたしが輝く国スポ～）に、本学から以下の学生が県代表選手として出場。9月19日、奈良商工会議所で行われた奈良県選手団団結式で、女子バレーボール部の堀由佳さんが「選手代表誓いのことば」を宣誓しました。

【奈良県代表】

【バレーボール女子】堀 由佳（心理4年）、内田 千晴（経済経営4年）、堺田 愛和（居住空間デザイン4年）、下井 みゆ（経済経営3年）、宇野 綾夏（経済経営3年）、望戸 風智（こども教育3年）、北山 菜々実（経済経営3年）、久保田 彩巴（食物栄養2年）、曾田 凜華（心理2年）、姫子 松 久温（居住空間デザイン1年）、藤田 幸光（監督として出場）

【レスリング】升田 康太（経済経営3年）

【奈良県以外の代表】

【レスリング】大原 千由（経済経営3年）※出身地の兵庫県代表で出場、澤田 理幸（法1年）※出身地の富山県代表で出場



(写真右) 奈良県産の食材をふんだんに使用した「万博BENTO」。何度も試作を重ねた。(写真左上) お手頃な価格もあって、すべて午前中に完売。(写真左下) 万博での好評を受けて、JR奈良駅構内の「奈良うまいものプラザ」でも販売。写真右が記事中に登場する岡原さん。

奈良県産の食材を詰め込んだ「万博BENTO」を開発 食物栄養学科の学生が世界に奈良の食をPR

食物栄養学科
×
奈良県
×
奈良井上



2025年10月に開幕を迎えた大阪・関西万博。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・夢洲で開催されたこの国際的イベントで、奈良の食が世界へ発信されました。関西バビリオン内「ALL NARA MARKET」で販売された「万博BENTO」。奈良県から依頼された同弁当の開発に、現代生活学部食物栄養学科の学生が携わりました。

管理栄養士養成課程を持つ奈良県内の4大学で構成される『ヘルスチーム奈良』の一員として、管理栄養士養成課程を持つ奈良県内の4大学で構成される『ヘルスチーム奈良』の一員として、試作を重ね、奈良県産の食材を詰め込んだ一折を仕上げました。

4月の万博会場での限定販売では、各日100食が午前中に完売。その反響を受け、夏には奈良県内での再販も実現。8月9日・10日には「奈良のうまいものプラザ」（JR奈良駅構内）で各日20食を販売し、9月23日には「さとやくスタジアム」（奈良県橿原市）で行われたウェスタン・リーグ公式戦でも販売しました。いずれの会場でも、学生が自ら接客を担当し、来場者に奈良の食文化を紹介しました。

開発に携わった岡原小乃羽さん（食物栄養3年）は、「試行錯誤したレシピが形になって、世界の舞台に並んだのは感慨深いです」と、満足げに話しました。学生たちは今回の経験を通じて、地域食材の魅力を再発見するとともに、管理栄養士としての視野を広げました。今後も「食で地域を元気にする」活動を続けていきます。



地域連携 × 大学連携

本学は、「実学の帝塚山大学」をスローガンに掲げ、自治体、企業、研究機関などと連携して地域や社会の課題解決に取り組む「プロジェクト型学習」に注力しています。

奈良県を中心に各所で展開する地域連携、産官学連携のほか、学術協定をもとにした大学連携、総合学園の強みを生かした帝塚山学園内での教育連携など、多種多様な協働事業を通じて、学生は実践力とともに「時代を生き抜く力」と「変化に対応する力」を身につけます。



心理教育を活用した予防的支援事業 最終年度に向け研修会

心理学部心理学科
×
大学院心理科学研究科
×
奈良県教育委員会



心理学部は、6月25日と7月2日の2日間、「心理教育を活用した予防的支援事業」の公開研修会を実施しました。本事業は令和4年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」で、本学心理学部の学生グループが最優秀賞を獲得した「子どもたちの心の健康をサポートする～心理教育アプローチの活用～」を基に奈良県で事業化され、今年で最終年度となる3年目を迎えます。学生は、心理教育の手法を活用して、いじめや不登校の未然防止を目的とした「不登校・いじめ予防支援プログラム」を奈良県内の小学校でこれまで実施してきました。

当日は、今年度、県内小学校で心理教育を実践する学生に加え、学校関係者やスクールカウンセラー、近隣大学院生など約20名が参加しました。

ここCKET代表・大畑豊先生による講義とワークを通して、参加者全員が心理教育の理論と実践を学びました。参加者からは「子どもだけでなく大人にとっても大切な学びだった」との声が寄せられるなど、実りの多い研修となりました。

2～4年生の新たなメンバーがこれまでのメンバーに加わり、冬に予定されている県内小学校2校での実践に向けて研鑽を重ねています。今回の研修で得た学びをもとに、子どもたちが自分の気持ちを理解し、他者とつながる力を育めるよう、プログラムをさらに発展させる予定です。

来年2月には、3年間の成果を発表するシンポジウムを開催。シンポジウムでは、学生がこれまでの取組みについて紹介します。実践の成果が今後の教育現場で生かされることを期待しています。



(写真左) ワークでのまとめを皆の前で発表。
(写真右) ランダムに組になった参加者と小学校での課題について意見を交わす。



鉄道まつりで子どもたちとふれあう —こども教育学科の学生がブース運営に参加—

教育学部こども教育学科
×
株式会社ネクスト・アクシス



8月9日・10日の2日間にわたり、奈良県コンベンションセンターで「大和鉄道まつり2025」が開催され、教育学部こども教育学科でブースを出展しました。ブースの企画と運営には小学校や幼稚園の教諭、保育士を目指す学生20名が携わりました。

今回の出展は、株式会社ネクスト・アクシスと本学が締結する包括的連携協定にもとづき、地域とのつながりを深める取り組みの一環で初めて実施されたものです。

学生たちが企画したのは、「車掌さんの帽子づくり」「折り紙あそび」「電車にちなんだ絵本の展示」。帽子づくりでは、学生に教えてもら

いながら、子どもたちが色画用紙の土台に折り紙のハートや星を貼りつけ、思い思いにカラフルな帽子を完成させました。子どもたちが完成した帽子をかぶって記念撮影を楽しむ姿や鉄道をテーマにした絵本の読み聞かせに熱中する姿であふれ、ブースは終日にぎわいました。

「自分たちのアイデアで子どもたちの反応が変わるのを感じた」「教育や保育への意欲がさらに高まった」と笑顔で話す学生たちの表情には、充実感がにじんでいました。今回の出展は、地域の子どもたちとの交流を通じて、学びを実践に生かす貴重な経験となりました。



(写真左) 色画用紙の土台に折り紙やシールを貼って、オリジナル車掌帽のできあがり。(写真右上) 鉄道がテーマの絵本の読み聞かせに集中する子ども (写真右下) ブースは電車好きの親子連れで大賑わい。学生と教員とで出発進行！

大学連携

学生の挑戦が地域を変える！ 第13回 実学の帝塚山大学 実践学生発表祭

2025年2月22日、東生駒キャンパスにおいて「第13回 実学の帝塚山大学実践学生発表祭 ～アクティブ・ラーニングの実践事例～」を開催しました。本発表祭は、多摩大学（東京都多摩市）および大阪電気通信大学（大阪府寝屋川市）との交流の一環として毎年実施され、地域課題や産官学連携プロジェクトに取り組む学生が成果を発表します。多摩大学で12月に行われる「アクティブ・ラーニング祭」には本学の学生が参加し、東生駒キャンパスでの発表祭には多摩大学や大阪電気通信大学の学生が招かれるなど、相互に学び合う交流が続いています。今回、本学からは日本文化学科による當麻寺プロジェクト、こども教育学科によるオレンジリボン運動、居住空間デザイン学科による紙器を用

いた什器設計や食物栄養学科による中鎖脂肪酸の高齢者への効果検証など、各学科の学生が取り組む多様なプロジェクトの成果が報告されました。いずれの発表も地域や社会の課題に対して学生ならではの視点や発想が反映されており、1年間の学びと努力の成果が存分に示されました。発表後の質疑応答では、来場者からの予想外の質問にも学生たちは落ち着いて丁寧に答えていました。そのやりとりから、実践を通じて学びを着実に自分の力にしている様子がうかがえました。招待発表では、多摩大学と大阪電気通信大学がそれぞれの特色ある取り組みを報告しました。本発表祭は、学部や大学の枠を超えた交流を通じて、学生の視野を広げ、新たな学問的発想を育む貴重な機会となりました。



(写真上) 開会のあいさつをする奥村由美子学長
(写真中・下) 会場からの質問に答える学生

発表一覧

発表1 文学部日本文化学科
當麻寺プロジェクトの成果報告
発表2 経済経営学部経済経営学科 チーム①
虹色祭でのフリーマーケット運営と取引データ分析
発表3 法学部法学科
地域連携・貢献への取り組みと成果
発表4 多摩大学 インターゼミ サービス・エンターテインメント班
Z世代によるタイパ重視 Z世代に向けた旅のすすめ
～短期間旅の学びと意識変化の検証～

発表5 心理学部心理学科
中学校教員を対象とした不登校生徒の心情理解を促す心理ワークショップの試み
発表6 教育学部こども教育学科
学生によるオレンジリボン運動
発表7 多摩大学 インターゼミ 多摩学班
団地から発信する外国人との共生
発表8 大阪電気通信大学 工学部・電気電子工学科
赤ちゃんのうつ伏せ寝検出システム
発表9 経済経営学部経済経営学科 チーム②

帝塚山大学経済経営学部の満足度に関する研究
発表10 現代生活学部居住空間デザイン学科
紙器による小型商品の什器設計
発表11 現代生活学部食物栄養学科
中鎖脂肪酸(8:0、10:0)が要介護高齢者の身体能力・認知機能向上に有効である：無作為化二重盲検並行群間介入比較試験
発表12 大阪電気通信大学 情報通信工学部情報工学科、工学部環境工学科
ビジネスプラン提案・システムづくりプロジェクト

地域を支えたい その一念で奈良市役所に

奈良市役所の介護福祉課で、介護保険料に関する業務に携わっています。65歳以上の方の保険料の計算や通知、納付相談のほか、減免制度や分割払いを案内し、市民一人ひとりの事情に応じた手助けをするのが主な仕事。相談者から「説明がわかりやすかった」と言ってもらえた瞬間は、特にやりがいを感じます。

介護保険制度は法律で細かく定められ、税金や年金などのほかの制度とも密接に関連しています。そのため、市民にわかりやすく説明するのが難しい場面もたびたび起こります。そんなときは、先輩職員への対応を観察し、言葉遣いや説明の仕方を見直すことで、自身の業務の改善を図ってきました。税制の勉強もコツコツ続け、説明力の向上に努めています。

複雑な制度を易しく伝えるだけでなく、現場の声を丁寧に拾い、より暮らしやすい制度の提案ができるようになることが今後の目標です。市民の皆さまに「奈良市に住んで良かった」と思っていたただけるように、目の前の仕事に誠実に取り組み、経験を積み重ねていきたいです。

帝塚山大学への進学は、先生と学生の距離が近く、就職サポートが充実していたことが決め手になりました。在学中は奈良県主催の政策コンテストなどに挑戦し、企画力や発表力を鍛えました。コロナ禍を経て、地域を支えるのは自治体の役目だと実感し、奈良市役所を志望しました。

皆さんも、学生の好奇心を引き出してくれる先生とともに、帝塚山大学での学びを大いに楽しんでください。そして、自分の興味を武器に変えてください。きっと将来を切り開く道しるべになるはずです。

在学中は、法学部のアドバンス・クラスに所属し、産官学連携などさまざまな活動に携わった。写真左は、(一社)大阪青年会議所のプロジェクトで取り組んだ「海洋プラスチック問題」での発表の様子。写真右は、奈良県警察と協働で行った帝塚山小学校での交通安全教室での一コマ。

奈良市役所 勤務
白井 亜友華さん
法学部法学科 2025年3月卒業

卒業生紹介

小さな変化を見逃さず
支援を求める声に応える

臨床心理士・公認心理師
奈良県スクールカウンセラー
中嶋 亜富さん
心理学部心理学科2021年3月卒業
心理科学研究科心理科学専攻臨床心理学専修
2023年3月修了

心理専門職として学校現場に向き合う

現在、奈良県のスクールカウンセラーとして複数の小学校を担当しています。児童や保護者へのカウンセリング、教職員へのコンサルテーションを行っています。言葉にしにくい思いは絵や遊びで表現してもらったり、保護者の子育ての悩みに寄り添ったり、先生方に心理学の視点を伝えたりと、相手の立場に応じたかかわりを大切にしています。

子どもたちの小さな変化に立ち会えるのが、やりがいにつながっています。一方で、教育と心理という異なる専門の視点に悩むこともあり、「心理の専門家」として過度に期待をかけられて不安を感じる場面もありました。そんなときこそ、相手を尊重して理解を深め、他職種との連携を心がけながら困難を乗り越えてきました。

帝塚山大学を選んだのは、心理学の幅広い分野を学べるだけでなく、臨床心理士養成の指定大学院があったからです。オープンキャンパスで感じた温かな雰囲気や、アニマルセラピーなど他大学にはない学びも魅力でした。在学中はオープンキャンパススタッフやピアサポート活動などに挑戦しましたが、大学院進学を目指して勉強には継続的に力を入れていました。その成果と周りの支えもあり、大学院へ進学することができました。

今年度から奈良県の全公立小学校にスクールカウンセラーが配置されました。必要な人に届く支援を目標に、いずれは「支援を必要とする人が少ない」環境を築きたいと考えています。大学と大学院で幅広い心理学を学んだことで、多様な価値観や柔軟な思考力を身につけることができました。皆さんも、心理学の面白さを追究してみてください。

写真は、アニマル・セラピーの授業。日本ドルフィンセンター（香川県さぬき市）で、実際にイルカに触れ合い、動物介在活動や応用行動分析などについて知識を深める。本学の心理学部は他大学に比べて多様な分野の心理学が学べるのが特徴。

Tezukayama Career Support

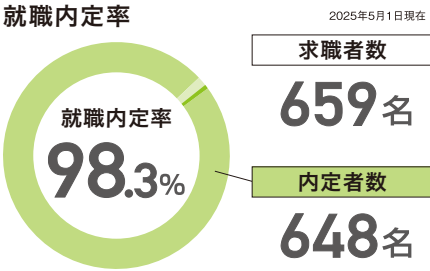
就職支援の取組み

キャリアセンターでは、学生1人ひとりが「実学教育」を通じて主体的に行動し、地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

学生が自らの意思で進路選択・就職決定ができるよう多種多様なサポートプログラムを実施するとともに、個人の希望やニーズや就職活動の進捗状況に合わせてきめ細かい支援を行っています。

高い就職率は手厚いサポートの証
面倒見の良さで、希望の進路をかなえる

キャリアセンターは、3年次から全学生を対象にキャリアカウンセリングを実施しています。経験豊富なカウンセラーが学生一人ひとりに寄り添い、状況に応じた丁寧なアドバイスを提供。就職活動の不安を解消し、安心して臨める環境を整えています。



2024年度
学部・学科別
主な就職内定先
2025/5/1現在（順不同）

文学部 日本文化学科	経済経営学部	法学部
大阪市役所（行政職）	キャンノンシステムアンドサポート株式会社	京都府警察本部
白山市役所（司書）	ナブコドア株式会社	滋賀県警察本部
株式会社福井銀行	株式会社ニトリ	奈良県警察本部
奈良信用金庫	大阪シティ信用金庫	奈良県広域消防組合
奈良県農業協同組合（JAならけん）	株式会社かんば生命保険	西日本高速道路バトロール関西株式会社
奈良県土地改良事業団体連合会	近鉄不動産株式会社	日本年金機構
大阪ガスセキュリティサービス株式会社	ホテルベルクラシック東京	防衛省 陸上自衛隊
株式会社ダイハツビジネスサポートセンター	パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社	株式会社京都銀行
関電ファシリティーズ株式会社	旭情報サービス株式会社	株式会社南都銀行
富士ソフト株式会社	和歌山県庁（行政職）	奈良信用金庫

心理学部	現代生活学部 食物栄養学科 居住空間デザイン学科	教育学部 こども教育学科
シャープマーケティングジャパン株式会社	独立行政法人国立病院機構 近畿グループ	奈良県教育委員会（小学校教諭）
奈良県農業協同組合（JAならけん）	公益財団法人天理よろづ相談所病院	大阪府教育委員会（小学校教諭）
株式会社りそな銀行	株式会社ニトリ	大阪市教育委員会（小学校教諭）
大阪市役所（行政職）	グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社	堺市教育委員会（小学校教諭）
株式会社ジェイアール西日本ホテル開発	シノプス株式会社	京都府教育委員会（小学校教諭）
ヤマト運輸株式会社	沢井製薬株式会社	横浜市教育委員会（小学校教諭）
日本郵便株式会社	日清医療食品株式会社	福岡県教育委員会（小学校教諭）
佐川急便株式会社	奈良県教育委員会（栄養教諭）	大阪府庁（社会福祉職）
株式会社LITALICO	株式会社サエラ（サエラ薬局）	大和郡山市役所（行政職）
近鉄ファシリティーズ株式会社	株式会社きんでん	堺市人事委員会（保正士）

帝塚山大学キャリアセンター
公式LINE
はじめました！

キャリア関連イベント 資格対策講座 募集情報
公務員対策室 情報 質問・相談受付

2025年度生用(1年生)

ID検索 @555jnrp

2024年度生用(2年生)

ID検索 @000orhlt

2023年度生用(3年生)

ID検索 @265puwtu

2022年度生用(4年生)

ID検索 @162pmtzu

質問・相談はキャリアセンターまで
(東生駒キャンパス) 9号館2階
(学園前キャンパス) 16号館2階
☎ 0742-48-9708
✉ shikaku-h@jimu.tezukayama-u.ac.jp

Career Report 内定者速報

キャリアセンターを活用して優良企業に内定を決めた
先輩の就職活動体験談をお届けします。

キャリアセンターに通い詰めて、つかんだ未来

内定先 防災機器メーカー

文学部 日本文化学科4年 日高 萌花 さん

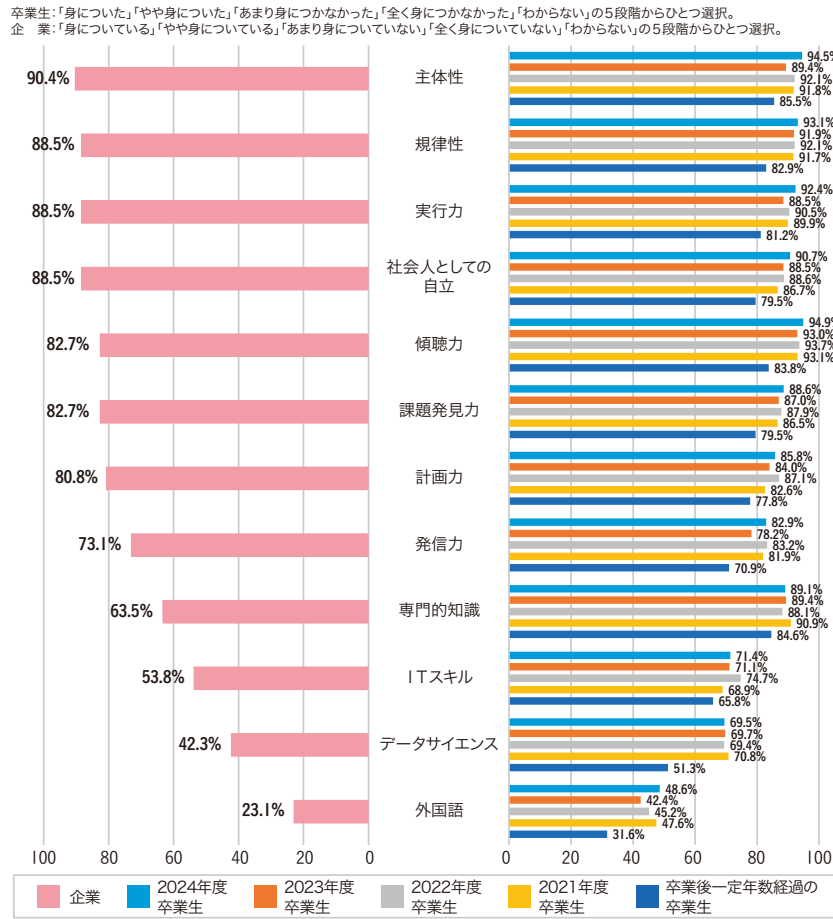
キャリアセンターを利用し始めたのは3年生から。自己PRの作成から個人面談まで丁寧に指導してもらい、就活への心構えが身につきました。夏には機械系や電気系のBtoBメーカーや商社を中心に5〜6社のインターンに参加。第一希望の企業選考に漏れて落ち込んだ時期もありましたが、その後、気持ちを切り替えて学内合同企業説明会で約20社を訪問。結果的にそこでは縁がなく、次にキャリアセンターから紹介された個別説明会で、防災関連の機械メーカーに出会い、4年生の6月初旬に内定をいただきました。

キャリアセンターには通いつめました。エントリーシート添削や模擬面接だけでなく、先輩の体験談や採用スケジュールの目安など、ネット検索では得られない「正解」を教えてくれる存在で、本当に心強かったです。就活が思うように進まなかったときに受けた励ましに涙したこともありました。温かく支えてくださったキャリアセンターの方々には、感謝しかありません。

後輩の皆さんへは、マナーやSPI対策、時事ニュースへの備えを早めに始めることをアドバイスとして贈りたいです。課外活動も面接で話題が広がるのでおすすめです。キャリアセンターを活用すれば、就活を安心して進められるはずです。

OR Report

図4 卒業生が「本学で教育を受けたことにより身につけた力」と企業が評価する「本学卒業の新卒社員が身につけている力」



※%は「身につけた(身につけている)」「やや身につけた(やや身につけている)」割合の合計
※企業の評価する力の割合の高い順にソート

企業が評価する
本学卒業の新卒社員に
「身につけている力」、
「1位は「主体性」」
最近入社した本学卒業生が「いる」と回答した企業に対し、先述の卒業生に対する調査と同じ12の力を示し、「本学卒業の新卒」入社3年目程度の社員が身につけている力」を尋ねたところ、最も割合が高かったのは昨年と変わらず「主体性」(90・4%)、次いで「規律性」「実行力」「社会人としての自立」(同率88・5%)の順となりました。図4左。

今回の調査では、企業が本学卒業の新卒社員に「身につけている」と評価する力と、卒業生が「身につけている」と評価する力の上位3項目のうち、

2024年度卒業生に12の力を提示
「本学の教育で「身につけた力」、
上位3項目は変わらず」
いただき、ポリシーや教育課程編成の見直しなど、継続的な改善・向上につなげることをしています。回答のあった企業の約8割は、近年(2020〜2024年)に本学卒業生が入社した企業で、こうした卒業生に対する評価が、本学の教育取組に対する評価につながっていると考えられます。

し、「本学で教育を受けたことにより身につけた力」を尋ねたところ、上位3項目は「傾聴力」(94・9%)、「主体性」(94・5%)、「規律性」(93・1%)、下位3項目は「外国語」(48・6%)、「データサイエンス」(69・5%)、「ITスキル」(71・4%)という結果になりました。図4右。概ねどの項目も昨年に比べて数値を伸ばしました。上位3項目は順位の入れ替えはあったものの、本質問項目を設置した2015年から2024年までで変動はありませんでした。この調査結果は、あくまで学生の主観に

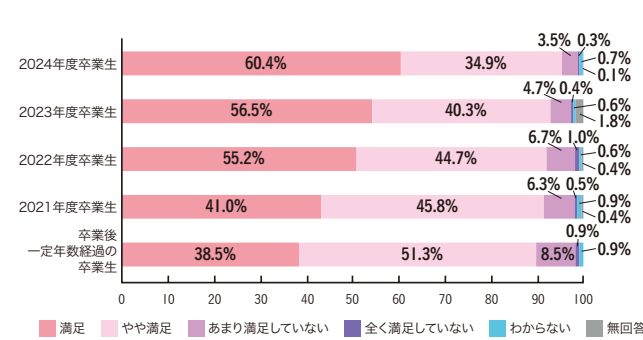
よる回答を基にしているため、実際に学生がどの程度の力・知識を身につけているかこれだけでは判断できませんが、12の力のうち9項目において、8割以上の学生が本学の教育を通して成長実感を得ています。なお、卒業後一定年数が経過した卒業生にも同じ質問をしたところ、最も割合が高かった力は「主体性」(85・5%)、「専門的知識」(84・6%)、「傾聴力」(83・8%)でした。
今後も継続的な調査を通じて、学生の变化を注視していきます。

(各調査実施概要)
●『卒業時アンケート調査』:2025年3月卒業生を対象。同月に行った卒業式の学位記授与会場において調査用紙を配付、回収。【回答者数・率(回答者数/出席者数)】685名、100.3%(学位記授与式後、調査用紙を提出した卒業生のものを含む)。
●『卒業生(卒業後一定年数経過)アンケート調査』:卒業後3・5・10年目(2014年3月卒・2019年3月卒・2021年3月卒)の卒業生のうち、同窓会会員である者を対象。2024年10月上旬に対象者へ案内ハガキを送付。Webにて回答。【回答者数・率】117名、6.1%
●『企業等対象アンケート調査』:2025年2月に本学で行った企業説明会に参加いただいた企業・団体を対象。企業説明会会場にて質問紙および返信用封筒を配布。紙またはWebにて回答。【回答者数・率】67社・団体、47.9%
※調査結果の比率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

「主体性」「規律性」の2項目が一致しました。今回の企業に対する質問は、入社3年目までを評価の対象期間にしているため、卒業時という一時点の評価した場合同じ結果が異なる可能性もありますが、実際に学生自身が身につけたと実感している力や教育の成果が、企業から本学の卒業生の強みとして同様に評価されているとも考えられます。
今回、3つの調査結果を横断的に検証し、教育活動を点検・評価してきましたが、卒業生の本学に対する満足度及び成長感覚が増加傾向にあることは、喜ばしいことであります。他方、社会が求める力は、時流により変化していくことが考えられます。引き続き、大学としてさらなる検証を重ね、教育や学生支援の改善へとつなげていきます。なお、『卒業生(卒業後一定年数経過)アンケート調査』について、回答率が6・1%と低く、調査対象とした年度の卒業生の総意としてとらえるには十分ではないことは本調査結果を活用するにあたっての留意点として

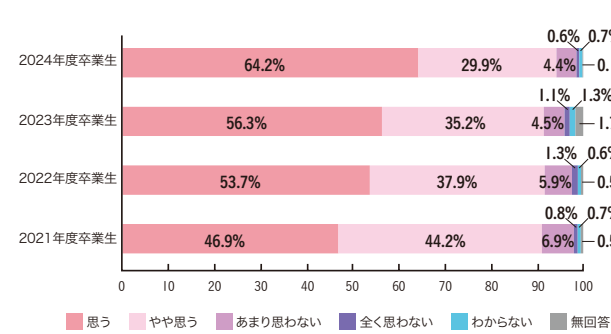
います。

図1 所属学部・学科の教育内容への満足度(ひとつ選択)



卒業生の本学の教育に対する満足度、過去最高を更新
今春卒業した2024年度卒業生に在学時の「所属学部・学科の教育内容への満足度」を尋ねたところ、「満足」または「やや満足」と回答した割合の合計は95・3%と大変高い割合となり、定期的に本調査の実施を始めた2013年度

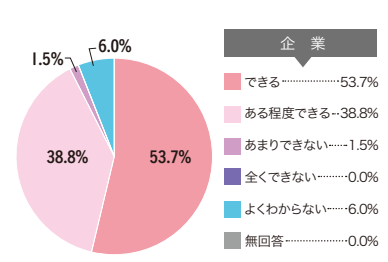
図2 帝塚山大学は面倒見の良い大学だと思うか(ひとつ選択)



以来、過去最高を更新しました。図1。2021年の大学入学時は、コロナ禍により様々な制限がありました。学生生活後半には通常のキャンパスライフを送ることができたことが、満足度が向上した一つの要因として考えられます。
なお、卒業後一定年数が経過した卒業生にも同じ質問をしたところ、89・7%が「満足」または「やや満足」と回答

し、昨年よりも高い割合となりました。
卒業生の本学の「面倒見の良さ」を評価する割合も過去最高を更新
2024年度の卒業生に「帝塚山大学は面倒見が良いと思うか」を尋ねたところ、「思う」または「やや思う」と回答した割合の合計は94・2%で、本質問項目を追加した2019年度の調査以来、こちらも最も高い数値となりました。図2。
本学の教育に対する満足度、「面倒見の良さ」への評価のいずれも昨年度から2%以上の数値の伸びが見られましたが、「面倒見の良さ」の数値の上昇が、教育に対する満足度の数値を押し上げた可能性も考えられます。
近年卒業生が入社した企業、本学の教育取組を評価
本学が主催する企業説明会に参加いただいた企業に、「本学の教育取組によりディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力、学修成果を身につけることができると思うか」を尋ねたところ、92・5%の企業が身につけることができ、「できる」または「ある程度できる」と回答しま

図3 本学の教育取組によりディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる資質・能力、学修成果を身につけることができると思うか(ひとつ選択)



◎帝塚山大学の定める人材養成目的および3つのポリシーは大学ホームページよりご覧いただけます。

データでみる帝塚山大学の教育力 ―卒業生・企業対象の調査結果から―

※1 IR(=Institutional Research)インスティテュショナル・リサーチとは、大学の教育・研究などに関する情報の収集・分析を通して、大学の経営に関する意思決定や、教育の改善のための計画策定などの支援を行うことを指します。

『大学通信帝塚山』に毎号掲載している本頁「IRレポート」は大学ホームページでもコンテンツとしてまとめています。(URL)
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/disclosure/ir/>



奈良学への招待



永井清繁画 軍用機と学徒動員(『奈良山里の生活図誌』/帝塚山大学出版会 より)

「特別展示 奈良と帝塚山学園の『戦後80年』を準備する中で、太平洋戦争期の奈良について考える機会を得ました。『帝塚山学園50年史』によると、帝塚山中学校の生徒が名古屋の三菱重工に勤労働員され、軍用機のエンジン生産に従事しました。天理市福住地区の若者も、名古屋にある愛知航空に動員されていたことが、永井清繁氏の残した絵画から明らかになっています(『奈良山里の生活図誌』)。

当時の名古屋は、軍用機生産工場が集中する地域でした。

また、天理市にある天理教の信

戦時下の奈良 永井清繁氏の画帳から

文学部 日本文化学科 教授 鷲森浩幸

所蔵品紹介

今回ご紹介するのは、奈良市藤原町に所在する古代寺院跡、横井廃寺から出土した蓮華文軒丸瓦です。横井廃寺で出土する瓦のなかで最も古く、建立当初の瓦とみられます。この瓦とたいへんよく似た瓦が中宮寺(生駒郡斑鳩町)にあります。中宮寺は聖徳太子やその母・穴穂部間人(あなほべのはしひ)皇后にゆかりの尼寺で、620年代の建立とみられることから、横井廃寺の瓦も同じ頃のものと考えることができます。

横井廃寺はかつて「中臣(なかとみ)



大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻

博士前期課程2年 富岡 伶成

横井廃寺の蓮華文軒丸瓦(飛鳥時代)

寺」と呼ばれ、中臣氏によって建立された寺院と考えられてきました。しかし、近年はその所在地から5世紀から6世紀にかけて奈良盆地東北部に勢力を持った和邇(わに)系氏族とのかかわりが深い寺院に想定されています。

横井廃寺ではその建立から廃絶にいたる飛鳥時代から鎌倉時代の瓦が出土しています。奈良時代には平城京でみられる瓦が使用されることから、横井廃寺を建立した氏族が平城京の造営に深く関与した可能性も考えられています。



今回ご紹介したように、遺跡から出土する瓦からさまざまな歴史を解明することができのです。なお、横井廃寺の蓮華文軒丸瓦は本学附属博物館(東生駒キャンパス)で展示していますので、その美しい姿をぜひ博物館でご覧ください。

科学研究費(科研費)とは、正式には科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)と呼ばれる「競争的研究資金」です。日本の学術を振興させるため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野で、独創的・先駆的な「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を発展させるため、ピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)により、特に重要なものに研究費を助成しています。

300を超える研究専門分野ごとに毎年6000人もの研究者が、申請

【2025年度実績】(代表者のみ、継続・延長含む)

所属	職位	氏名	代表者・分担者の別	研究種目	課題名
現代生活学部	教授	辻川 ひとみ	代表(分担あり)	基盤研究(B)	小規模保育施設の建築計画と園外活動を支える都市環境のあり方に関する研究
文学部	教授	杉崎 貴英	代表	基盤研究(C)	仏像作例をめぐる再認識と理解形成の追跡—郷土史／在野研究／仏教考古学に注目して—
文学部	准教授	中川 真弓	代表	基盤研究(C)	石清水八幡宮所蔵願文類についての基礎的研究
文学部	客員研究員	川口 洋	代表(分担あり)	基盤研究(C)	18・19世紀の東北地方における死亡危機の要因分析
経済経営学部	教授	美 聖淑	代表	基盤研究(C)	高齢観光の概念的接近：顧客の価値創造プロセス
法学部	教授	谷 美奈	代表	基盤研究(C)	パーソナライティングVSアカデミックライティング論争を乗り越える文章表現教育開発
法学部	准教授	笹邊 将甫	代表	基盤研究(C)	証拠提出義務の定立による訴訟当事者間の実質的平等の確保
心理学部	教授	谷口 淳一	代表(分担あり)	基盤研究(C)	親密関係の開始から深化にいたる継続基盤の転換プロセス：幻想主義から現実主義へ
心理学部	名誉教授	山本 隆宣	代表(分担あり)	基盤研究(C)	中枢性疲労を伴うADHD/ASD併存症の教育支援の確立：トランス診断アプローチ
現代生活学部	教授	藤原 永年	代表(分担あり)	基盤研究(C)	非結核性抗酸菌症の化学療法で頻発する糖ペプチド脂質の欠失機構と難治化の解明
教育学部	准教授	永井 久美子	代表(分担あり)	基盤研究(C)	3歳未満児クラスを担当する保育者の「連携・協働」の評価尺度と研修プログラムの開発
法学部	講師	伊藤 麻由美	代表	若手研究	体罰防止へ向けた学習支援モデルによる体罰の認識プロセスの質的検討
教育学部	准教授	大石 祥寛	代表	若手研究	朝のラジオ体操が夜型の大学生の生活習慣および気分にあぼす影響
経済経営学部	准教授	川村 哲也	代表(分担あり)	挑戦的研究(萌芽)	計算機実験による被験者実験の再現と制度設計理論の社会実装
文学部	准教授	岡島 永昌	代表	研究活動スタート支援	近世大和川をめぐる物流に見る都市・農村社会の一体的構造に関する研究
心理学部	講師	平野 仁弥	代表	研究活動スタート支援	子育てに悩む保護者に対する小児科診療所の特徴を生かした心理支援のあり方

科学の知見を社会へ——神経発達症を多角的に考える「研究成果地域還元報告会」

代表研究者 心理学部 名誉教授 山本 隆宣

科学研究費助成事業の成果を一般に公開する「研究成果地域還元報告会」を、2025年3月6日に学園前キャンパスで開催しました。本会は、地域社会へ研究成果を広く発信することを目的に毎年実施しています。今回は「多角的な視点で神経発達症(発達障害)への理解を深める」と題し、山本隆宣客員教授が講演。ADHD(注意欠如・多動症)に比べ、ASD(自閉スペクトラム症)では有効な治療薬がない現状や、ADHDとASDの併存症の多さが治療を難しくしている点を指摘しました。デンマークの特殊学校での調査では、神経発達症の生徒数が35年間で27倍に増え、85%が慢性的な精神疲労を抱えている実態も明らかに。ADHD動物モデルの解析から、脳内トリプトファン代謝の変化が治療薬やバイオマーカーとして応用できる可能性が示されました。



2024年度後期 教職員教育功績表彰

3月17日、東生駒キャンパスにて「教職員教育功績表彰」の授与式を行いました。本表彰は、教育実践において顕著な成果を挙げた教職員を顕彰するもので、「帝塚山大学教職員教育功績表彰規程」に基づき設けられています。教職員の意欲の向上を促すとともに、本学教育の質的充実と教育実践活動の活性化を目的としています。

表彰式では、奥村由美子学長が、2024年度後期の表彰対象となった経済経営学部経済経営学科 吉野功一准教授と法学部法学科 笹邊将甫准教授に、表彰状と記念品を授与しました。

両准教授の受賞理由は以下のとおりです。

吉野准教授は、担当するアドバンス・クラスにおいて関西経済連合会との協力関係を構築し、学生と企業が直接交流する企画を実現しました。学生は現場に触れることで企業の課題解決につながる提案を行い、その成果を開学60周年記念公開講座で発表しました。さらに、ゼミ生が研究報告会で最優秀賞を含む多数の入賞を果たすなど、熱心な指導に裏付けられた教育効果の高さが評価されました。

笹邊准教授は、法学科長としての職務に加え、民事訴訟法科目やアドバンス・クラスを担当し、学生の高度な学びを支えました。帝塚山小学校や奈良西警察署との交通安全・情報モラル教育などの産官学連携活動にも注力し、学生の主体的な学びを促進。その成果は、警察官・消防官・公務員、金融機関就職者、各種資格取得者の増加につながりました。これらの教育・指導面での顕著な実績が高く評価されました。



授与式で奥村由美子学長とともに笑顔で撮影に応じる左から順に吉野准教授、笹邊准教授、奥村学長

本学教員の執筆図書紹介

執筆図書一覧

本学教員の著作は、教育研究活動成果の公開を目的として、東生駒キャンパス図書館本館と学園前キャンパス図書館分館の「業績図書」コーナーに配架されています。

(発行年月順)

教員名	所属/役職	分類	書籍名	出版社	発行年月	価格
伊藤 知子	現代生活学部食物栄養学科/教授	分担執筆	新健康と調理のサイエンス：調理科学と健康の接点 第3版	学文社	2025年1月	2,900円＋税
惠阪 悟	文学部日本文化学科/講師	共編	『京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター 研究報告15 うたひ鏡：翻刻・現代語訳・解説』	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター	2025年2月	2,000円(税込)
岡島 永昌	文学部日本文化学科/准教授	単著	聖徳太子と雪丸	王寺町	2025年2月	非売品
阿部 咲子	現代生活学部食物栄養学科/准教授	分担執筆	臨床栄養学：改訂第4版(健康・栄養科学シリーズ)	南江堂	2025年3月	4,000円＋税
岩橋 明子	現代生活学部食物栄養学科/教授	分担執筆	カレント 改訂 公衆栄養学 第4版	建帛社	2025年3月	2,800円＋税
安井 伸郎	名誉教授	単著	新版エネルギーの科学：第3版	三共出版	2025年3月	2,200円＋税
佐伯 孝子	現代生活学部食物栄養学科/准教授	分担執筆	カレント給食経営管理論：三訂	建帛社	2025年4月	3,400円＋税
関根 俊一	客員教授・名誉教授	分担執筆	本尊大修理記念 善光寺のあゆみ	一般社団法人なら文化交流機構	2025年4月	—
徳永 加代	教育学部こども教育学科/教授	分担執筆	現場で役立つ中学・高校 国語科指導法	くろしお出版	2025年5月	2,500円＋税
西山 厚	客員教授	単著	1300年のたからもの(語りだす奈良：[3])	ウエッジ	2024年5月	1,800円＋税
井戸田 博史	名誉教授	単著	夫婦の氏をめぐる：歴史的背景と課題	帝塚山大学出版会	2025年5月	3,600円＋税
福本 葵	法学部法学科/教授	分担執筆	国説アメリカの証券市場 2025年版	公益財団法人 日本証券経済研究所	2025年7月	2,300円＋税
志馬 祥紀	経済経営学部経済経営学科/教授	分担執筆				



(写真上) 新入生に向けて奥村由美子学長から式辞が述べられた。(写真下左) 華やかなフォトスポットで記念撮影 (写真下右) 上級生からクラブ勧誘を受ける新入生

第62回帝塚山大学入学式・第37回大学院入学式を挙

4月1日、帝塚山大学は第62回入学式および第37回大学院入学式を、学園前キャンパスの学園講堂で挙行了しました。式典は二部構成で行われ、第一部では文学部、経済経営学部、法学部、大学院人文科学研究科、第二部では心理学部、現代生活学部、教育学部、大学院心理科学研究科の新入生が式に臨みました。

奥村由美子学長は式辞で、「実学の帝塚山大学」として展開するプロジェクト型学習にふれ、学生一人ひとりが専門的かつ総合的・実践的な知を身につけられるよう、教職員が一丸となって支援していくと語りました。この言葉を受けて新入生・大学院生代表が勉学と研究への決意を力強く宣誓。続いて富岡将人 理事長・学園長が祝辞を述べ、最後に全員で祝歌「茜雲」を斉唱し、令和7年度の入学式は厳かに幕を閉じました。

会場へ続くデッキでは、開式前から上級生たちがクラブ紹介のチラシを手に、新入生へ元気よく声をかける姿が見られました。桜は五分咲きでしたが、桜をモチーフにしたフォトスポットや看板の前では、保護者と記念撮影をする新入生の笑顔で華やいだ空気が広がっていました。

翌日からはオリエンテーションが始まり、図書館やキャリアセンターの利用方法などのガイダンスが行われ、新入生たちは4月7日の授業開始に向け、新たな学生生活へ踏み出しました。

開学60周年記念「謎解きゲーム」を新入生歓迎会で初披露

4月12日、東生駒キャンパスにて新入生歓迎会を開催しました。400名を超える新入生を迎え、まだ桜の残るキャンパスは活気に包まれました。

今年の新入生歓迎会の目玉は、開学60周年を記念して初めて行われた「謎解きゲーム」です。キャンパスのあちこちに散りばめられた22の謎に新入生が挑戦しました。制限時間は1時間。体育館に集合した新入生には、謎解き用のリーフレットとキャンパスマップが配布されました。オープニングムービーでゲームの世界観が紹介された後、いよいよ謎解きのスタートです。『わからない…』『難しい!』と頭を抱えつつ、友人と協力して謎に挑む新入生たち。スポットに待機するスタッフや大学公式SNSのヒントを頼りに、手分けしてリーフレットのマス目を埋めていきます。全てのクイズを解くと現れるメッセージの指示に従うと、最後の答えにたどりつく仕組みです。そうこうしているうちに中庭から歓声が上がリ、体育館へと駆け出す新入生の姿が見られました。最速クリア者は、わずか30分ほどでゴールに到達しました。

謎解きの後は、食堂と「まほろば」に設けられたクラブ・サークル紹介ブースを回るスタンブラリーを実施。上級生たちが熱心に活動内容をアピールし、新入生との交流を楽しんでいました。歓迎会の締めは、毎年恒例のビンゴ大会です。豪華賞品をかけて、番号が読み上げられるたびに会場は大きな盛り上がりを見せました。

(写真上) 体育館から謎解きがスタート (写真中左) 難易度の高いクイズを前に熟考する新入生 (写真中右) 協力し合いながら謎解きのマス目を埋めていく。(写真下左) 合気道部が護身術を披露 (写真下右) 新入生を前に手品を披露

新しい仲間との「謎解きゲーム」に大いに盛り上がった今回の歓迎会。新入生にとって、大学生活の第一歩にふさわしい一日となりました。



奈良のまちづくりを産学連携で共創 株式会社ネクスト・アクションと協定締結

本学と株式会社ネクスト・アクション(大阪府東大阪市)は、地域活性化や社会課題の解決、学術振興を目的に包括連携協定を締結しました。

6月20日、道の駅「クロスウェイなかもち」(奈良市中町)で調印式を行い、奥村由美子学長と大川裕之代表が協定書に署名しました。奥村学長は「学生の学びを地域に発信し、奈良のまちづくりに貢献していきたい」と述べ、続けて大川代表が「まちづくりのために帝塚山大学とともに奈良の発展や活性化に尽力していく」と話しました。協定締結後、初の協働事業として、6月21日には文学部日本文化学科の学生23名が地域課題解決をテーマに「クロスウェイなかもち」でフィールドワークを行いました。さらに、8月9日・10日には教育学部こども教育学科の教員と学生が、「大和鉄道まつり2025」(於・奈良県コンベンションセンター) [詳しくはP.11](#)で子ども向けのワークショップを実施しました。

本協定の締結により、本学と同社は、教育・研究・文化の振興、地域観光や産業の活性化、地域資源の活用、人材育成、防災など、多様な分野で相互に協力して事業を展開していきます。



(写真上) 古文書を破損しないよう慎重に取り扱う。(写真中) 今後の研究のために古文書の写真撮影にも挑戦。根気が必要とされる作業。(写真下) 一つひとつ丁寧にリスト化していく。

Tezukayama Topics

地域の歴史を未来へつなぐ——古文書レスキュー隊出動!

文学部日本文化学科の岡島永昌准教授と同学科の学生および大学院生が、奈良県桜井市外山区に伝わる古文書の調査・整理に取り組んでいます。この活動は、地域に埋もれた貴重な歴史資料に光を当て、未来へと継承する「古文書レスキュー」。

から昭和10年代の近代文書までが網羅されています。行政記録だけでなく、宗像神社の祭礼や水利・災害記録など、地域の暮らしや共同体の営みを伝える一次資料も含まれており、今後の分析が新たな発見につながるものと期待されています。これまで地元文化財専門職の方々が整理にあたっていました。作業完了までに長期間が見込まれることもあり、くずし字(古文書の崩し書き)を読む訓練を積んでいる日本文化学科の学生と大学院生がレスキューに乗り出しました。

で活動を継続。文書を中性紙製の箱に移し替え、年代・表題・発信者・受信者をリストにまとめ、目録化を目指して整理を進めています。9月に実施した第4回には大学院生も加わり、古文書のデジタル撮影に挑戦しました。これまでに約680点のリスト化が完了し、全体の約3分の1が把握できました。今後は地域住民に向けた報告会も予定しています。学生たちは地域と協力しながら、歴史を未来へつなぐ取り組みを続けていきます。

韓国・東義大学で開催「東北アジア観光学会大学生国際発表大会」経済経営学科国際観光コース・姜ゼミ生が優秀賞・奨励賞をダブル受賞

経済経営学科国際観光コース・姜聖淑教授のゼミ学生7名が、8月22日から24日にかけて韓国・釜山の東義大学で開催された「東北アジア観光学会大学生国際発表大会」に参加し、優秀賞および奨励賞を受賞しました。

本大会は2011年に始まり、観光を学ぶ日本と韓国の学生と教員が研究成果を発表する国際的な交流の場として毎年開催されています。今年は日韓の大学から約100名が参加し、分科会形式で熱心な議論が交わされました。今大会は、エントリー後に論文の完成が間に合わずに辞退するチームも多く、最終的には例年より少ない16チーム(日本・韓国合計)が発表を行いました。発表は母国語で実施し、あらかじめ印刷した論文を配布して要旨の同時通訳が行われました。学生たちは4月から綿密な準備を重ねて本番に臨みました。

- 姜ゼミからは、
- ▶「持続可能な観光資源としての奈良公園の鹿の価値を考察する」 [発表学生] 米田 幸将、齋藤 遼、高園 獅子、山口 心海
 - ▶「2030年、大阪IRの収益を活用した教育環境の改善策」 [発表学生] 今井 大聞、田中 侖輝、兎金 万里奈、中部 萌

(50音順に掲載、すべて経済経営3年)

の2本の研究を発表。「持続可能な観光資源としての奈良公園の鹿の価値を考察する」が優秀賞、「2030年、大阪IRの収益を活用した教育環境の改善策」が奨励賞に選ばれました。

優秀賞を受賞した研究では、奈良公園の鹿を重要な観光資源として位置づけ、ESG(環境・社会・ガバナンス)の視点からその価値と役割を分析。奈良の認知度向上と持続可能な観光モデルの構築に向けた提案を行いました。

また、学生を指導した姜聖淑教授も「優秀教育者賞」を受賞。研究と教育の両面での成果が高く評価されました。



(写真上) 優秀賞と奨励賞をダブル受賞して賞状を手記念撮影。(写真下) 発表の様子。4月から時間をかけて準備してきた成果を披露

帝塚山大学開学60周年記念募金 寄付のご報告と寄付者のご芳名

帝塚山大学開学60周年記念募金へご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
ご寄付を賜りました皆様への感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載いたします。

募金額 (2024年4月～2025年3月)

総募金金額 5,965万円 (募金目標金額 2,000万円)
合計寄付件数 20件

寄付者ご芳名 (敬称略・50音順)

奥村 由美子	株式会社南都銀行学園前支店
重本 和泰	株式会社山上組
アスカ美装株式会社	近鉄グループホールディングス株式会社
SMBC日興証券株式会社奈良支店	三機工業株式会社関西支社
株式会社内田洋行	大和証券株式会社奈良支店
株式会社大林組	帝塚山大学同窓会
株式会社きんでん奈良支社	東西建築サービス株式会社
株式会社東急コミュニティー	野村証券株式会社大阪支店
株式会社奈良事務機	丸善雄松堂株式会社大阪支店
株式会社奈良保健衛生社	三菱UFJモルガンスタンレー証券株式会社

※個人、企業の順で掲載しております。

※寄付金額を含むその他の個人情報掲載いたしません。

※ご寄付いただいた方で、ご芳名が掲載されていない場合や表記に誤りがある場合は、
総務課(東生駒キャンパス TEL: 0742-48-9122)までご連絡ください。



皆様からの温かいご支援は、学生が快適に過ごせる
居場所づくりのため、以下の施設整備に活用いたしました。
改めて心より御礼申し上げます。

東生駒キャンパス

- ① 6号館学生ホール設置
- ② 5号館1Fトイレ美装化
- ③ 防犯カメラ増設



6号館学生ホール(東生駒キャンパス)

学園前キャンパス

- ① はとの広場の
LEDフットライト設置
- ② 14号館2Fトイレ美装化
- ③ 14号館学生ホール
電源ステーション及び
モニター設置



はとの広場LEDフットライト(学園前キャンパス)

訃報

ご生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

酒井敏明 名誉教授

2024年12月3日逝去。92歳。専門は人文地理学。京都大学大学院文学研究科博士課程退学。東海大学文学部助教授を経て、1973年に本学教養学部着任。1998年4月より名誉教授。

脇谷英勝 名誉教授

2025年3月14日逝去。82歳。専門は日本文学・和歌。関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。同大文学部助手を経て、1970年に本学教養学部着任。2008年4月より名誉教授。

平山篤子 名誉教授

2025年3月17日逝去。73歳。専門はヨーロッパ史・スペイン史。米国エール大学神学校修士課程修了(M.A.)、大阪大学博士(文学)。1987年に本学教養学部着任、のち経済学部教授。2017年4月より名誉教授。

江口順一 名誉教授

2025年4月2日逝去。89歳。専門は国際経済法・知的財産保護。京都大学大学院法学研究科修士課程修了。大阪大学法学部教授・法学部長を経て、1994年に本学法政策学部教授、1997年より大学院法政策研究科長併任。2010年4月より名誉教授。大阪大学名誉教授。日本工業所有権学会理事長などを歴任。経済企画庁長官表彰。2014年、瑞宝中綬章。

加藤靖夫 名誉教授

2025年8月14日逝去。84歳。専門は応用生物化学。京都工芸繊維大学繊維学部養蚕学科卒業、九州大学農学博士。京都工芸繊維大学助手を経て、1967年に帝塚山短期大学着任。2004年、帝塚山大学短期大学部長および現代生活学部食物栄養学科教授。学校法人帝塚山学園評議員(1990～1993年)。2011年4月より名誉教授。

NOTICE

第61回 虹色祭

模擬店に展示、ステージイベントまで盛りだくさん！そしてクライマックスは——恒例の、秋の夜空を彩る打ち上げ花火。友だちと、ご家族と、ぜひ一緒に楽しみください！



【日程】2025年11月15日(土)・16日(日) 10:00～19:00(予定)

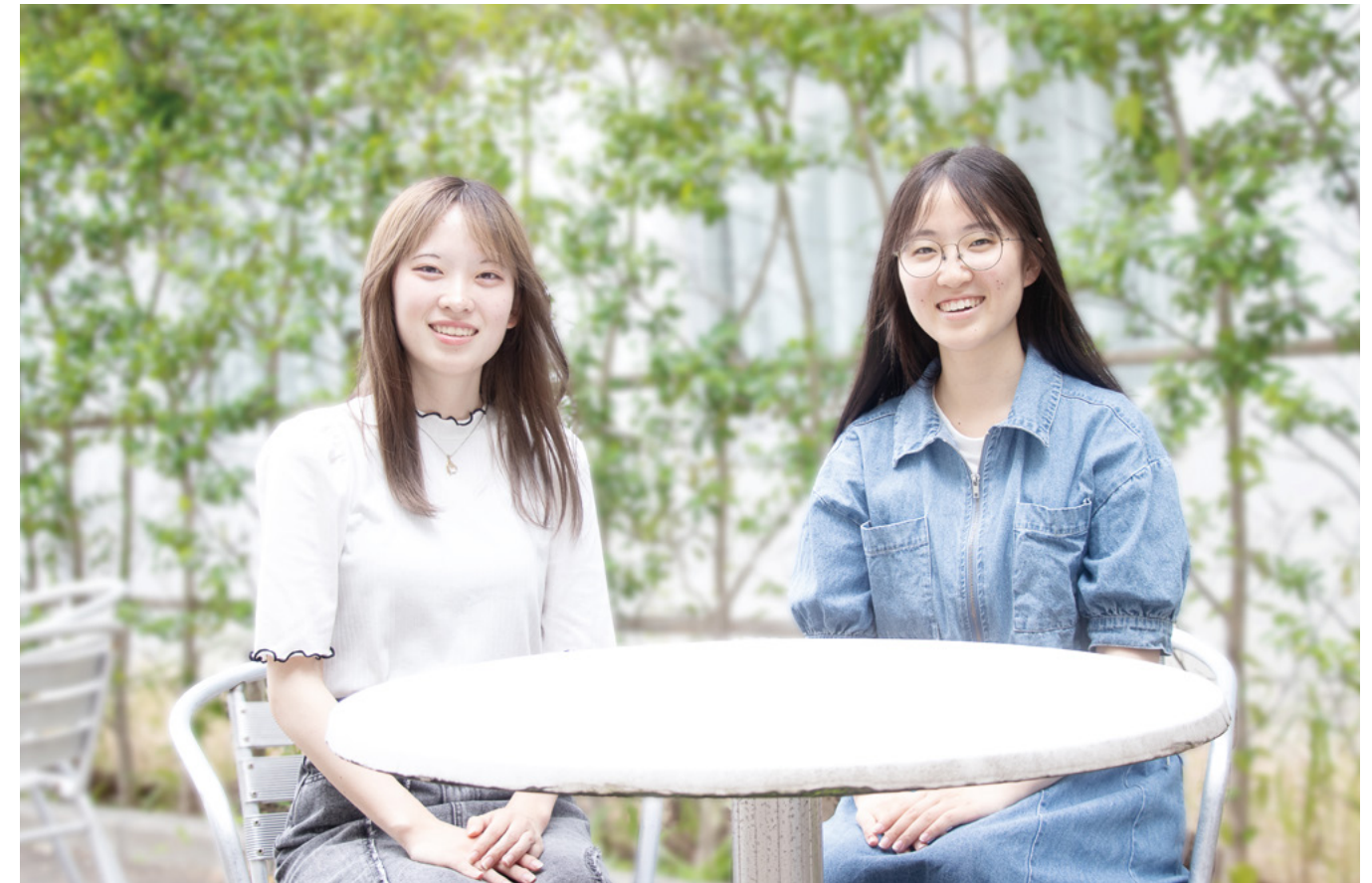
【場所】帝塚山大学 東生駒キャンパス

2025年度 帝塚山大学卒業式・ 帝塚山大学大学院修了式

昨年度の卒業式・修了式は「帝塚山大学学園前キャンパス 学園講堂」で挙行了しましたが、2025年度の卒業式・修了式は、「グランキューブ大阪(大阪国際会議場)」にて下記の日程で開催の予定です。

【日時】2026年3月23日(月) 13時開式(入場受付:12時～)(予定)
※全学部・全研究科、同一の時間帯で式を挙行します。
※終了時間は15時半～16時頃の見込みですが、学部学科・研究科により終了時間は前後します。

【会場】グランキューブ大阪(大阪国際会議場) 5階メインホール(大阪市北区中之島5-3-51)
※会場へは公共交通機関を利用してお越しください。
※開催方法や実施形態は変更となる場合があります。
※卒業生・修了生の皆様には、2026年3月上旬に正式な案内文を送付する予定です。



新連載

『大学通信帝塚山』55号(2024年9月発刊)の巻頭特集「ひろがる帝塚山ファミリー」では、親子や兄弟姉妹で本学に進学された5組の方々をご紹介します。その反響にお応えし、本号から新連載「帝塚山ファミリー」をお届けします。

目指す道は異なれど ともに学びあえる帝塚山大学



保育士を目指す姉の藤井優里菜さん(こども教育4年)と、管理栄養士を目指す妹の藤井陽菜乃さん(食物栄養1年)。2人はともにオープンキャンパススタッフを務める仲良し姉妹です。

優里菜さんが本学を選んだ理由は、保育士資格・幼稚園教諭免許・小学校教諭免許の3資格を無理なく取得できることでした。「小学校教諭免許も取れば、より広い視点を持てると思いました」(優里菜さん)今は授業に加え、2年以上続ける保育園でのアルバイトで実践力を磨く日々です。

一方、管理栄養士が目標の陽菜乃さんは「実践的なプロジェクトが多いこと」に魅力を感じて本学へ。「体験を通じて、より深い知識と技術を身につけたいと思いました」(陽菜乃さん)オープンキャンパスで出会ったスタッフの存在も大きかったそうで、「先輩スタッフの人柄に惹かれて。勉強と課外活動を両立している姿に憧

れました」と笑顔で話してくれました。

同じ大学に進学することを互にどう思ったのかを問うと「刺激を受け合いながら成長できそうだなと」(優里菜さん)「学部は違うけど、姉と同じ大学という安心感がありました」(陽菜乃さん)

2人がそろって口にするのは、帝塚山大学は「ともに学びあえる大学」であるということ。「先生や仲間との距離が近く、励まし合いながら成長できる」(優里菜さん)、「先生が丁寧にサポートしてくださる。同じ目標を持つ仲間がいるのも心強いです」(陽菜乃さん)。大学には成長を後押ししてくれる環境が整っていると話します。

実は、2人のお父様も経済学部経営情報学科(現:経済経営学部経済経営学科)の卒業生です。親子、姉妹がつながる学びの場でもある帝塚山大学。ともに学び、ともに成長する先に、それぞれの夢が広がっています。

TEZUKAYAMA
FAMILY

#06

妹

藤井 陽菜乃さん ㊟

現代生活学部 食物栄養学科1年

憧れの先輩の背中を追いかけて、自身もオープンキャンパススタッフに。1年生ながら、すでに管理栄養士国家試験のことが頭にあり、将来を見据えてどのゼミに入るべきか情報収集中。

姉

藤井 優里菜さん ㊟

教育学部 こども教育学科4年

オープンキャンパススタッフを4年間務め、先日卒業したばかり。私立保育園ですでに内定を得ており、保育園でのアルバイトにも一層、精を出す毎日。教育学部主催の「てづかのこどもフェス」では、中心的なメンバーとして活躍。

News!

大学生活を強力にサポート 帝塚山大学 実学ポータルアプリ

**2025.10.31
Release!**
(予定)

台風で警報が出てるけど、授業はどうなるの？

学生割引を使いたいのに、学生証を忘れてしまった…！

そんなとき頼りになるのが、この「帝塚山大学 実学ポータルアプリ」。

休講や補講案内がプッシュ通知で受け取れ、時間割や教室の確認もスマホで完結。

デジタル学生証としても使えるので、身分証明や各種手続きにも対応できます。

無料
アプリ

休講補講情報を
プッシュ通知でお知らせ



時間割や教室の確認



バス時刻表表示



キャンパスマップ



大規模災害時の
安否連絡機能



デジタル学生証



アンケート機能



キャンパススクエアや大学
HPへのポータル機能

2026年3月からは、
学内PC貸出や
オンデマンドプリンター
でも使えるので、
さらに便利に！

まずはアプリをダウンロード



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう

※画像はイメージです。 ※仕様などは変更になる可能性があります。



☑ 入学金が通常18万円のところ 6万円に減免！

☑ 4年間で100万円給付の奨学金をねらえる！

2026年度 ファミリー入試(専願)のご案内

ファミリー入試とは、帝塚山学園の建学の精神・学風を深くご理解いただき、ともに帝塚山大学のファミリーとしてお力添えを頂ける方のご入学を歓迎する入試制度です。

出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院、短期大学)の卒業生、もしくは在籍生・在学生の2親等以上の親族で、本学が定める基準を満たし、高等学校を2025年4月1日から2026年3月31日までに卒業された方または卒業見込みの方です。

※出願の際には「帝塚山ファミリー」であることの証明書(卒業証書の写し・卒業証明書等を添付)が必要です。

ファミリー入試も対象！

チャレンジ制度

NEW!

4年間で **100** 万円 給付

年内の専願入試に合格された方は、追加の入学検定料なしで一般選抜A日程後期にチャレンジでき、成績上位者(20位以内)には奨学金(100万円)を給付します。初年次の後期に10万円、以降前期・後期ごとに15万円を給付(4年間で合計100万円)します。

●対象入試：総合型選抜 前期・後期(オープンキャンパス参加型、自由応募型、スポーツ型)、指定校推薦、ファミリー入試
※専門学科・総合学科入試の合格者のうち併願合格者は対象
●日程及び試験内容：一般選抜 A 日程 後期【2科目型】
●チャレンジ制度の受験は検定料無料
※次年度の継続は学業成績により毎年審査があります。

■ 募集人員 若干名(各学科とも) ※学科ごとに成績等の諸条件があります。

■ 選考方法 ①面接 ②書類審査(調査書・志望理由書)

前期スケジュール

出願期間	2025年9月25(木)～10月9日(木)(消印有効)
試験日(面接)	2025年10月18日(土)
合格発表	2025年11月1日(土)
1次手続締切日(入学金納付)	2025年11月21日(金)

後期スケジュール

出願期間	2025年11月21日(金)～12月12日(金)(消印有効)
試験日(面接)	2025年12月21日(日)
合格発表	2025年12月24日(水)
1次手続締切日(入学金納付)	2026年1月8日(木)

詳しい出願資格や要件などに関しては、事前に入試広報課までお問い合わせください。

OPEN CAMPUS

学園前キャンパス

12.14(日)

公募制推薦対象
小論文・国語・英語

LINE・Instagramで帝塚山大学の最新情報をお届けします！

LINEでは帝塚山大学の最新情報をお届けします！Instagramでは先輩たちを取り巻くリアルな大学情報をお届けします。ぜひご登録ください！QRコードからもご登録いただけます。



【お問合せ】帝塚山大学 入試広報課

Tel 0742-48-8821 (直通)

Fax 0742-48-9021

nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp



「大学通信帝塚山」企画・編集委員会

編集・発行 帝塚山大学 入試広報課 発行日 2025年10月

〒631-8501 奈良市帝塚山 7-1-1 TEL 0742-48-9149 (広報専用) FAX 0742-48-9021

mail koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp URL https://www.tezukayama-u.ac.jp/

卒業生の住所変更などのお問い合わせ先：帝塚山大学同窓会わかみどり会 TEL 0742-48-6157 (平日10時～15時)



学校法人帝塚山学園